

令和 7 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

尾張旭市地域公共交通会議
(尾張旭市)

平成 19 年 8 月 1 日設置

平成 25 年 7 月 尾張旭市交通基本計画策定
(計画期間 平成 25 年 7 月～令和 8 年 3 月)

令和 6 年 3 月 尾張旭市交通基本計画 (改訂版) 策定
(計画期間 令和 6 年 4 月～令和 16 年 3 月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業
・地域間幹線系統確保維持国庫補助金

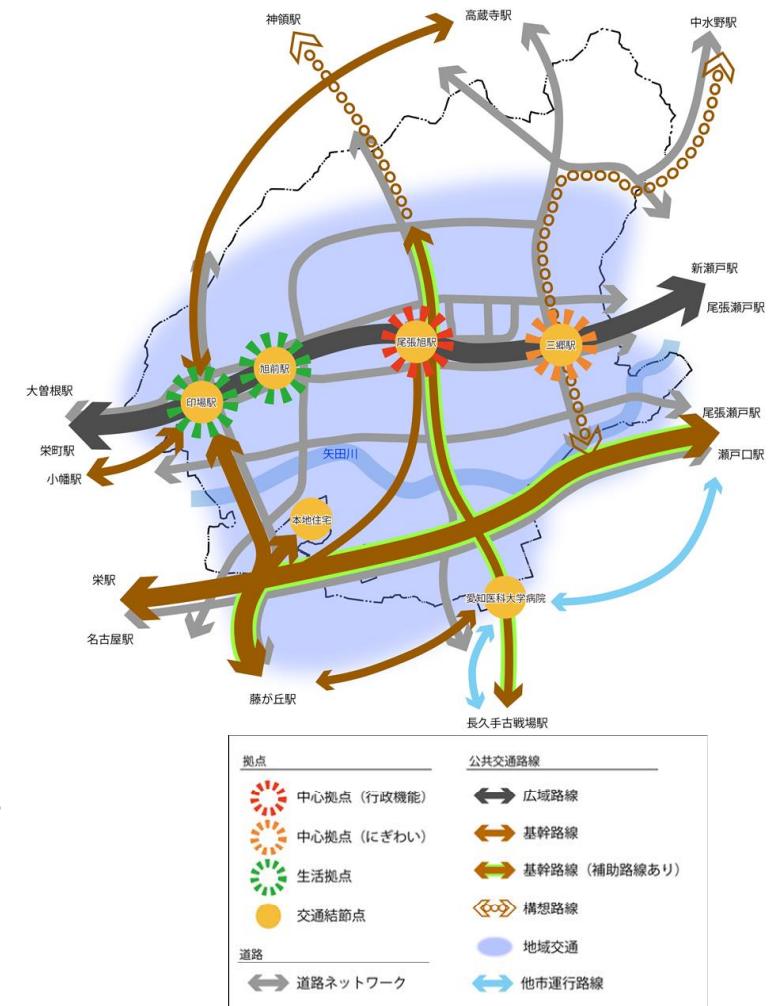
尾張旭市の概要

- ・人口約8.4万人
- ・広域路線として名鉄瀬戸線、基幹路線として名鉄バス及び名古屋市営バス、地域交通として尾張旭市営バスが運行

尾張旭市交通基本計画（改訂版）

- 1 計画期間：令和6年度～令和15年度
- 2 めざす都市交通の未来像
「快適な移動環境が質の高い暮らしを支えるまち」
- 3 基本方針
 - (1) 広域移動を支える都市間交通ネットワークの形成
 - (2) 鉄道駅を中心とした生活交通ネットワークの形成
 - (3) 安全・安心・円滑な移動環境の創出
 - (4) 関係者の連携・協働による取組の推進

⇒基本方針に基づき、①から⑯までの実施施策を設定。



2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

【令和7年度補助期間（R6.10～R7.9）の取組内容】

実施施策	取組名称	取組の概要	実施結果・今後の方針
⑨あさぴー号の運行内容の充実	印場駅～愛知医大間試験運行（R6.9～）	市営バス西ルート左回りの乗りこぼし対策として、印場駅から愛知医大までの試験運行を実施した。	乗りこぼし発生件数への影響や試験運行便の利用状況を把握・分析し、本格運行への移行について検討する。
⑯新たなモビリティサービスの導入	チョイソコせとあさひ実証実験（R6.10～R7.1）	愛知県が募集したAIオンデマンド交通実証実験事業について、瀬戸市～尾張旭市間での移動需要検証のため実施した。	・合計利用回数：73回（尾張旭市内） ・実施結果を基に、利用状況の分析を行い、今後の公共交通施策について検討する。
㉕地域の公共交通に対する市民意識の醸成	市営バス利用者懇談会（R6.11）	市営バス利用者への情報提供、利用者ニーズや改善点の把握のため懇談会を実施した。	・参加者：5名 ・主な意見：増便要望、運賃維持等 ・引き続き、意見交換等の場として懇談会を開催予定。
⑤主要バス停のダイヤ改善 ⑨あさぴー号の運行内容の充実	市営バス利用者アンケート（R6.12）	市営バスの利用状況、利用者ニーズ把握のため車内アンケートを実施した。	・実施期間：R6.12.10～12.12 ・配布数：446枚 ・回収数：424枚 ・回収率：95.1% ・引き続き、アンケートを実施し、利用状況や利用者ニーズの把握に努める。
⑨あさぴー号の運行内容の充実	年末試験運行（R6.12）	令和5年度に引き続き、12月29日～31日に市営バスの年末試験運行を実施した。	・合計利用者数：751人 ・年始の利用者ニーズ把握のため、運行期間を変更して試験運行を継続実施予定。
㉑わかりやすい情報提供	バスロケーションシステムの導入（R7.2～）	見やすく分かりやすい運行情報を提供するため、バスロケーションシステムを導入した。	・累計アクセス数（R7.2～R7.9）：39,421件（トップページ） ・周知、利用促進活動により更なるシステム利用者の増加を図る。
㉒公共交通サービスを維持するための取組	公共交通の利用促進（随時）	・外部イベントに参加し、市営バス車両展示、乗車体験等のPR活動を実施した。 ・他市営バスや名鉄バスとの乗継拠点となる停留所を示したルートマップ・時刻表を転入者に配布した。 ・市広報やHP等での市営バスに関する情報提供を行った。	・参加イベント：ながくて公共交通フェスタ（R7.1.25）はたらくクルマ大集合（R7.2.1）あさひ健康フェスタ（R7.4.29） ・延べ来場者数：約500人（3イベント合計） ・引き続き、外部イベントへの参加や広報等により周知・PRを実施し、利用促進を図る。

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

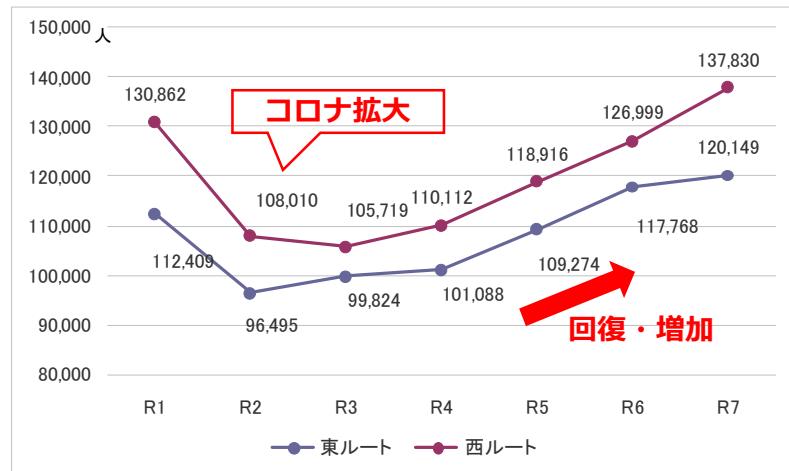
【地域公共交通確保維持改善事業の評価】

- 定量的な指標として「利用者数」と「収支改善率」を目標値として設定

ルート	評価項目	R7目標値 R6.10～R7.9	R7実績値 R6.10～R7.9	達成状況
東ルート	利用者数	117,000人	120,149人	達成
	収支改善率	1.0%	△0.3% (16.7%→16.4%)	未達成
西ルート	利用者数	125,000人	137,830人	達成
	収支改善率	1.0%	△0.3% (19.3%→19.0%)	未達成

【達成状況に関する考察】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの回復、試験運行便の増便、利用促進活動等の取組により、利用者数が増加し、東・西ルート共に目標を達成した。
- 利用者の増加に伴い、運賃収入が増加した一方で、人件費や燃料費等の高騰の影響を受けたこと等により、収支改善率の目標は未達成となった。



※令和6年度（R6.4～R7.3）については、市営バス運行事業者の負担軽減を目的として、燃料費等高騰に関する補助を実施した。

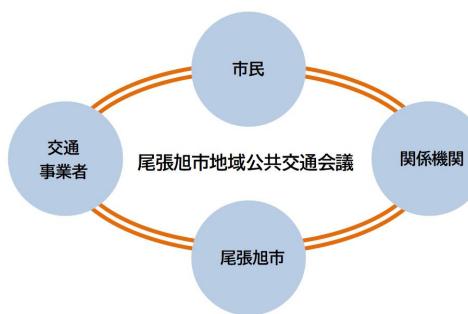
【目標に対する現在の到達点と次年度移行の取組方針】

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
<p>＜利用者数＞ 東・西ルートともに増加傾向にあり、目標値を達成した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試験運行の実施等による運行内容見直しを検討し、利用実態に応じた運行の最適化を図る。 ・バスロケーションシステムを活用することで見やすく分かりやすい情報を提供し、利便性向上を図る。 ・外部イベントに積極的に参加し、PR活動を実施する。 ・市広報紙、市ホームページ、バスロケーションシステムのお知らせ画面等にて随時情報提供を実施する。 ⇒上記取組により、更なる利用者の増加を目指す。
<p>＜収支改善率＞ 東・西ルートともに人件費・物価高騰の影響により、目標値は未達成となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運行の最適化や運行経費、運賃の妥当性等についての検討を実施する。 ・上記利用促進策により、運賃収入の増加につなげ、収支改善率の向上を目指す。

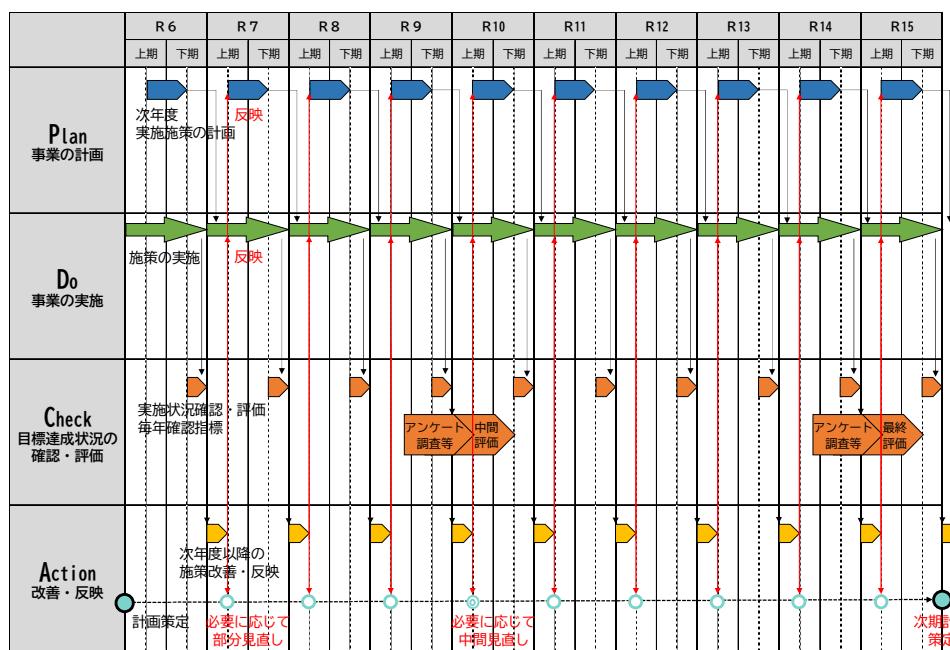
5.計画・評価の推進体制

- ・本計画の施策はPDCAサイクルにより推進する。
- ・評価指標の達成状況や各種施策の実施状況については、毎年度、尾張旭市と関係団体が協働で評価・検証し、地域公共交通会議で進捗管理する。
- ・必要に応じて、アンケート調査等を実施しながら詳細な評価を行い、計画の中間見直しや次期計画への反映を検討する。

【図 計画の推進体制】



【図 計画スケジュール】



【協議会の実施状況 (R6.10～R7.9)】

- 令和6年度第2回尾張旭市地域公共交通会議 (R6.11.13)
 - ◎主な議題
 - ・デマンド交通実証実験の実施について
- 令和6年度第3回尾張旭市地域公共交通会議 (R7.2.7)
 - ◎主な議題
 - ・尾張旭市地域公共交通会議開催要綱の一部改正等について
 - ・地域間幹線系統確保維持計画に係る事業評価について
- 令和7年度第1回尾張旭市地域公共交通会議 (R7.5.28)
 - ◎主な議題
 - ・令和7年度地域公共交通施策に関する主な取組について
 - ・尾張旭市地域公共交通計画（改訂版）の地域公共交通確保維持事業について